



## 2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社グローバルキッズCOMPANY

上場取引所 東

コード番号 6189 URL <https://www.gkids.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中正 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 財務IR部長 (氏名) 野田 雅之

TEL 03-3221-3770

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	11,640	6.0	336	71.5	324	34.4	196	33.3
2020年9月期第2四半期	10,977	18.2	195	21.0	241	3.3	147	4.3

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 209百万円 (31.8%) 2020年9月期第2四半期 159百万円 (5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	21.28	20.93
2020年9月期第2四半期	16.09	15.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	21,443	8,373	39.0
2020年9月期	18,561	8,146	43.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 8,353百万円 2020年9月期 8,127百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	7.4	700	46.6	1,260	37.5	680	55.2	73.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	9,276,511 株	2020年9月期	9,229,880 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	3,621 株	2020年9月期	1,072 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	9,251,776 株	2020年9月期2Q	9,175,917 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け依然として厳しい状況が続いておりますが、企業収益の一部に持ち直しの動きがみられるなど回復の兆しがみられます。しかしながら、2021年4月に3回目の緊急事態宣言が発出されるなど新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、先行きの不透明感が増しております。

このような環境のなか、子育て支援事業を取り巻く状況は、女性の社会進出に対する意識の変化や政府による女性の活躍推進などにより、共働き世帯数や女性の就業率が高水準で推移しており、保育に対する需要は引き続き高い状況にあります。なお、当第2四半期連結累計期間においては2021年1月に2回目の緊急事態宣言が発出されたものの、概ね通常どおりの登園率となり、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であります。

政府・自治体は、保育需要増加に対応すべく、保育の受け皿拡大を目的に保育士確保や保育所整備の施策を講じております。具体的には、2019年10月には幼児教育・保育無償化が開始され、2020年12月には政府が「新子育て安心プラン」を公表し、2021年度から2024年度末までの4年間に保育の受け皿を新たに約14万人分確保する目標を打ち出しました。

これら政府の取り組みにより、当社グループが重点的に注力している東京都心部では保育需要の増加が続いていることを映して、保育所の新設に対する需要は当面継続すると見込まれます。高齢化や総人口の減少による労働人口の減少が懸念されるなかで、経済の活力の担い手となる女性の社会進出のためには保育環境の整備、保育の質向上が課題であり、子育て支援事業者の社会的役割は一段と重要性を増しております。

当社グループは当第2四半期末時点で、認可保育所125施設（東京都91施設、神奈川県25施設、千葉県3施設、埼玉県1施設、大阪府5施設）、認証保育所・認定こども園等保育施設23施設、企業主導型保育所11施設、学童クラブ・児童館13施設、児童発達支援事業所4施設の計176施設を営んでおります。

なお、当第2四半期連結累計期間において新たな施設の開設準備を進め、以下の通り2021年4月1日に認可保育所9施設を新規に開設しております。また、9月に認可保育所を1施設開設する予定です。

#### (認可保育所)

##### 東京都

グローバルキッズ池上園  
 グローバルキッズ蒲田第二保育園  
 グローバルキッズ馬込園  
 グローバルキッズ森下五丁目園  
 グローバルキッズ平野園  
 グローバルキッズ志茂第二保育園

##### 神奈川県

グローバルキッズ三ツ境園  
 グローバルキッズ日吉五丁目園

##### 千葉県

グローバルキッズ浦安園

当第2四半期連結累計期間の業績は、運営施設数の増加を主因とした園児数増加により売上高が増加しました。また、社内イベントや研修のオンライン化や保育士等従業員の採用効率化を推進したことで売上原価率および販管費率が改善しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高11,640百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益336百万円(同71.5%増)、経常利益324百万円(同34.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益196百万円(同33.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2,882百万円増加し21,443百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,696百万円増加し6,890百万円となりました。これは、現金及び預金が2,530百万円増加したことが主因です。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ185百万円増加し14,552百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）が330百万円減少した一方で、4月の新規開園に向けて建設仮勘定が565百万円増加したことが主因です。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比べ2,656百万円増加し13,070百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べ2,995百万円増加し6,462百万円となりました。これは、短期借入金が3,100百万円増加したことが主因です。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ339百万円減少し6,608百万円となりました。これは、長期借入金が347百万円減少したことが主因です。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ226百万円増加し8,373百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が196百万円増加したことが主因です。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、4,347百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、487百万円（前第2四半期連結累計期間は921百万円の増加）となりました。これは、法人税等の支払額が344百万円であった一方で、減価償却費416百万円、税金等調整前四半期純利益324百万円の発生が主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して433百万円減少しております。これは、法人税等の支払額が279百万円増加したこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、657百万円（前第2四半期連結累計期間は797百万円の減少）となりました。これは、新規開園に向け有形固定資産の取得による支出が604百万円発生したことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して140百万円増加しております。これは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の差入による支出がそれぞれ89百万円、19百万円、19百万円減少したこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、2,700百万円（前第2四半期連結累計期間は2,695百万円の増加）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が447百万円であった一方で、短期借入金が3,100百万円増加したことが主因です。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して5百万円の増加と前年同期並みの水準となりました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月12日に公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,816	4,347
未収入金	1,797	1,808
前払費用	574	730
その他	6	4
流動資産合計	4,194	6,890
固定資産		
有形固定資産		
土地	635	635
建物及び構築物(純額)	10,523	10,192
建設仮勘定	107	672
その他(純額)	400	362
有形固定資産合計	11,666	11,863
無形固定資産		
ソフトウェア	52	49
ソフトウェア仮勘定	4	—
無形固定資産合計	56	49
投資その他の資産		
投資有価証券	113	112
長期前払費用	570	531
敷金及び保証金	1,632	1,684
建設協力金	304	295
繰延税金資産	23	17
その他	0	0
投資その他の資産合計	2,643	2,639
固定資産合計	14,366	14,552
資産合計	18,561	21,443
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	3,100
1年内返済予定の長期借入金	859	809
未払金	1,261	1,493
未払法人税等	370	163
前受金	127	82
賞与引当金	586	574
役員退職慰労引当金	24	—
その他	237	239
流動負債合計	3,466	6,462
固定負債		
長期借入金	4,487	4,139
退職給付に係る負債	340	371
繰延税金負債	1,773	1,752
資産除去債務	343	344
その他	2	1
固定負債合計	6,947	6,608
負債合計	10,414	13,070

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,278	1,287
資本剰余金	1,967	1,976
利益剰余金	4,960	5,157
自己株式	△1	△3
株主資本合計	8,205	8,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	0
退職給付に係る調整累計額	△79	△65
その他の包括利益累計額合計	△77	△64
新株予約権	19	19
純資産合計	8,146	8,373
負債純資産合計	18,561	21,443

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	10,977	11,640
売上原価	9,598	10,155
売上総利益	1,379	1,484
販売費及び一般管理費	1,183	1,148
営業利益	195	336
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	4
補助金収入	54	—
その他	2	2
営業外収益合計	61	6
営業外費用		
支払利息	14	12
その他	0	5
営業外費用合計	15	17
経常利益	241	324
特別利益		
事業譲渡益	27	—
特別利益合計	27	—
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	263	324
法人税等	115	128
四半期純利益	147	196
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	147	196
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
退職給付に係る調整額	11	13
その他の包括利益合計	11	13
四半期包括利益	159	209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159	209
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	263	324
減価償却費	399	416
補助金収入	△54	—
事業譲渡損益 (△は益)	△27	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	42	53
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	14	12
未収入金の増減額 (△は増加)	196	△10
前払費用の増減額 (△は増加)	△142	△141
未払金の増減額 (△は減少)	252	231
前受金の増減額 (△は減少)	△62	△45
その他	61	40
小計	944	842
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額	△65	△344
補助金の受取額	54	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	487
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△693	△604
無形固定資産の取得による支出	△21	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△82	△62
敷金及び保証金の回収による収入	1	0
建設協力金の回収による収入	12	10
その他	△14	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△797	△657
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,700	3,100
長期借入れによる収入	478	50
長期借入金の返済による支出	△457	△447
社債の償還による支出	△23	—
リース債務の返済による支出	△2	△2
ストックオプションの行使による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,695	2,700
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,818	2,530
現金及び現金同等物の期首残高	1,480	1,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,299	4,347

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「子育て支援事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。